

---

# 定年ロケット

保地葉

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

定年ロケット

### 【Nコード】

N3325E

### 【作者名】

保地葉

### 【あらすじ】

お題小説企画「劇場『すぽっと』」からタイトルを借りて書いたものです。怪しげなチラシに誘われて、定年男の旅立ち。続くようで続きません。

カウントダウンは早かった。

「5・4・3・2・1・ゼロ」

ゼロ、って日本語だったろうか。そんなことを考えた。

問いかけても誰も答えてくれないだろう。発射してしまったからには戻れない。

帰る場所もない。帰りたい場所もない。

ないないづくしのカウントダウン。

五秒後に人生の発射、乗員一人の定年ロケット、花束ひとつ贈られずに旅立ちます。

仕事仕事のこのン十年、出世街道から逸れ、あたたかい家庭なんていうのにも遭遇せず、自分一人生きるのに必死で、気が付いてみれば定年間近であるわけで。

家庭なし、貯蓄なし、これといって誇れる技術も技量もなし、もちろん人脈もない。それに仕事なしまで加わるわけだ。溜息すら出ない人生、そんな中、渡されたのは一枚のチラシ。

「ロケット乗務員急募。ただし、定年に限る。」

蛍光ピンクのふざけたうたい文句、なんじゃこりゃ、ふざけてんのか。振り向いた先に既にチラシ撒きの姿はなく、深夜を回った繁華街の外れ、だれの姿もありはしない。一体なんなんだ、くしゃと丸めて捨てようとしたとき、目に入ったのはこんな一行。

「人生最後のひと華、見事に散ってみませんか」

なんだかその一行に誘われて、ちびちびねばって飲んだ安酒の力も手伝って、取り出したケータイでチラシの番号にかけてみる。「説明会随時、要予約、お気軽にお電話を」出なけりゃ捨てた。そいつは確実。

だけでも四コールで出やがった。

そこから急転、定年ロケット、発射準備オーライ。

詳細は企業機密だということで、口外しないと誓約させられた説明会、驚くことに自分の他にも四、五人集まった中で面接があり、合格。採用です。

ロケット乗務員、一名採用内定。本採用は定年翌日。

定時上がりの月本金と第二・第四の土日に基礎訓練、体力づくりに操作研修、などなど。スケジュールはみっちり、仕事にも居眠りする始末だが、幸いなことに定年前、自分より年上は少なく、怒る者もない。五時半の時報とともにタイムカードを押してもだれも何も言わない。もちろん、ロケットの乗務員になったなんていうのも、だれも知らないのさ。

あれよあれよと言う間に定年の日が近づき、会社最後の日も何もなく平穩に過ぎ、花束も貰わず帰社しまして、ちよつと一杯飲んで帰って、すっきり目覚めた定年翌日、めでたく本採用通知を頂いたわけだ。そこからは怒濤、考える暇もなく気が付いたらロケット発射台の前、本当にロケットなのか、と呆けていたらもつと驚きの事実が告げられる。

発射したら帰って来ない。

定年ロケットは片道チケット、乗務員は自分一人、全てがセルフサービス。

そうだそーいやうたい文句は「人生最後のひと華、見事に咲かせてみませんか」ではなく「人生最後のひと華、見事に散ってみませんか」だった。

注意力散漫、誘われた自分が悪いのか。スペース・スーツを着こんだ自分はもう後戻りは出来ず、えいやと決めたなけなしの覚悟の上、思いのほかちっぽけなロケットに乗り込んだわけだ。

どうして乗務員が定年に限るかって？ どうしてロケットを飛ばすかって？

それは教えられないな。なんせ企業機密、口外しない契約なのさ。

カウントダウンは早かった。

シートに座り目を瞑り、今までの人生を走馬灯のように思い返す。うん、たいした人生じゃないね。平々凡々、ならばいいそのこと、散ってみせるもひと華か。

定年ロケット、発射五秒前。流れ星一番野郎になりに行きます。

「5・4・3・2・1・ゼロ」

ゼロって日本語だったっけ、そんなこと考えながら押したスイッチひとつで、定年ロケット宇宙へ旅立ちます。六十年目の人生の発射、はてさてどうなることやら。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3325e/>

---

定年ロケット

2011年1月1日14時41分発行